



カリヨン

通巻

第98号

発行／2025.1

函館音楽協会会報

<http://hako-on.com>

新年のごあいさつ

函館音楽協会会長 石丸典子



2025年会長新年ごあいさつ

皆様、新年いかがお過ごしでしょうか。昨年も函館音楽協会の活動にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、先月の下旬に、札幌のある放送局の方から当事務局に問い合わせメールがきました。「先代函館駅舎に設置されていた青い大時計の時報の音源が懐かしく、改めて聞きたい」という視聴者からの投稿をもとに調査しているのだそうで、音源は見つからないが、そのメロディを作曲したのが根上義雄様という情報があったので、函館音楽協会になにか資料が残っていませんか、という内容でした。

これという手掛かりがない中でネット検索した「函館駅」のウィキペディアには、堀井敏雄著「函館駅百年物語」に『1953年（昭28）函館駅に大時計が設置され、根上義雄作曲の時報オルゴールが流れた』と確かに記されていました。また「函館市史通説編47編2章コラム31」に、昭和11年、林喬木氏、酒井武雄氏、根上義雄氏が函館音楽協会を立ち上げた、と記してある頁にたどり着きました。

昭和9年の大火によって停滞を余儀なくされた函館の音楽界を甦らせ活発化しようとした創立者の当時のご活躍ぶりやそのご功績については圧倒されるばかりで、調べに没頭したのはほんの一時でしたが、非常に感慨深く、会務に携わっている後継者の一人として、改めて身の引き締まる思いがしました。

後日届いた差出人からのお礼メールには「青い大時計の時報オルゴールは、おそらく国鉄時代に騒音問題のため外されてしまったようです」とありました。函館在住で一人だけ“その音色を聴いた記憶がある”という方の情報を得ましたが、私も聞いてみたかったなぁと思いました。函館音楽協会は、来年創立90周年を迎えます。

函館音楽協会2025年度事業予定

函館音楽協会2025年度事業日程は、次の通りに決定しましたのでお知らせします。

総会 令和7年4月27日（日）函館市民会館大会議室

春季定期演奏会 5月25日（日）函館市芸術ホール

学生コンサート 8月31日（日）函館市芸術ホール

ジュニアコンサート 9月23日（火祝）函館市芸術ホール

秋季定期演奏会 11月8日（土）函館市芸術ホール

令和6年度函館音楽協会賞および奨励賞受賞者決定について

函館音楽協会（会員113名）は、令和6年12月5日午後7時30分より、函館市芸術ホール会議室に於いて選考委員会を開催し、令和6年度函館音楽協会賞受賞者を決定しましたので発表いたします。
令和6年度の受賞者は次のとおりです。

函館音楽協会賞（第35回）	畑 中 一 映 : ピアノ
	三 笠 裕 也 : 音楽教育、指揮
	女声コーラストラリル : 合唱
函館音楽協会奨励賞（第61回）	該当者なし

両賞は、函館市及び隣接市町に在住する個人並びに団体を対象に、毎年前年12月1日から11月30日までの1年間の活動を対象として選考されます。協会賞は過去からの実績の蓄積、および当該年度中における郷土の音楽文化向上推進への特段の功績が認められる事業、あるいは活動した個人や団体に授賞します。奨励賞は当該年度中に作曲並び演奏活動において、意欲的且つ、特筆すべき高水準の実績を示し、郷土の音楽活動の推進力となった個人又は団体に対して授賞します。

表彰式は令和7年1月26日（日）午前11時30分より五島軒にて行われ、受賞者には賞状と記念品が授与されます。また、受賞者は5月25日（日）開催の春季定期演奏会（函館音楽協会主催 於：函館市芸術ホール）において受賞記念演奏を行う予定です。

令和6年度函館音楽協会選考委員会委員

委員長	会長	石丸典子	委員	副会長	島 聖子
委員	評議員	市川須磨子	委員	副会長	伊藤 亜希子
委員	評議員	佐々木 茂	令和6年度委嘱委員	橋本公志（会員）	
委員	評議員	穴戸雄一	令和6年度委嘱委員	寺井かえ（会員）	
					以上8名

受賞事由

函館音楽協会賞

畑 中 一 映（はたなか かずてる）：ピアノ

氏は、当協会の定期演奏会を始めとし、2012年ショパン国際ピアノコンクールin Asiaで優勝するなど、ピアニストとして意欲的な演奏活動を通して高い評価を得てきた。また、合唱の分野においても、ヴォーカルアンサンブルノインを立ち上げるとともに、本年10月、全日本合唱コンクール函館大会において指揮者として函館MB混声合唱団を銀賞受賞に導いた。併せて、本年創立30年100回目の記念演奏会にて活動を終了した若手音楽家の集団「クレアシオン」の代表も2007年より務めてきた。

これらの活動は、郷土の音楽文化向上推進への大きな功績として、高く評価される。

函館音楽協会賞

三 笠 裕 也（みかさ ゆうや）：音楽教育、指揮

氏は、長年にわたる小・中学校教諭として音楽科の学習指導に優れた実践を重ね、その成果を広く普及し音楽教育の質の向上に尽くした実績が高く評価され、令和2年北海道教育実践表彰、令和3年には文部科学大臣賞を受賞している。

また、吹奏楽においても、これまでに勤務した小・中学校の吹奏楽部を次々と全国大会に導くとともに、北海道教育大学函館校吹奏楽団常任指揮者、音楽監督として幾度も全国大会出場を果たし、優れた指導者として認められている。

これらの活動は、郷土の音楽文化向上推進への大きな功績として、高く評価される。

函館音楽協会賞

女声コーラストラリル：合唱

昭和63年に発足した女声コーラストラリルは、これまでの集大成として令和6年2月に創立35周年記念演奏会を開催し、ピアノ五重奏と女声合唱による新しい作品に挑戦し、絵画でいうコラージュのような珍しい作品に仕上げ、高評価を得た。

また、これまで全日本合唱コンクール北海道支部大会にて金賞7回、銀賞15回受賞、北海道代表として全国大会に4回出場し、銅賞を4回受賞するなどの実績を重ね、その積極的な活動によって常に函館の合唱界をリードしてきた。

これらの活動は、郷土の音楽文化向上推進への大きな功績として、高く評価される。

受賞者プロフィール



函館音楽協会賞

畑 中 一 映 (はたなか かずてる) : ピアノ

道南松前町生まれ。幼少時よりピアノを、小学校から合唱を始め、多くの良き指導者、メンバーに恵まれ音楽活動を継続している。

北大在学中オーディションに合格し、札幌交響楽団とリスト「ピアノ協奏曲第2番」共演の他、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」(帯広交響楽団)、シューマン「ピアノ協奏曲」(北海道交響楽団)共演。ショパン国際ピアノコンクール in ASIAアマチュア部門アジア大会優勝、アマチュアのためのショパン国際ピアノコンクール(ワルシャワ)にて連続入賞を果たす。ヤン・エキエルピアノ公開レッスン、遠藤郁子ピアノ公開講座「ショパンの遺言」等出演。

函館音楽協会奨励賞、函館市文化団体協議会青麒麟章等受賞。代表を務めた道南音楽家集団クレアシオンで函館音楽協会奨励賞及び函館市文化・スポーツ振興財団益田喜頓賞受賞、ヴォーカルアンサンブル・ノインで全日本合唱コンクール北海道支部大会金賞・朝日新聞社杯、函館音楽協会奨励賞受賞。

現在、函館MB混声合唱団にて指揮を務め、令和6年度全日本合唱コンクール北海道支部大会にて銀賞受賞。上湯川小学校、戸倉中学校、函館中部高等学校を経て、北海道大学医学部、同大学院修了、国立がんセンター研究所中央病院リサーチレジデント終了、博士(医学)。北海道医学会賞、道南医学会医学研究奨励賞等受賞。現在、市立函館病院消化器内科科長、がんゲノム医療センター長、消化器がん薬物療法を専門とする。



函館音楽協会賞

三 笠 裕 也 (みかさ ゆうや) : 音楽教育、指揮

余市町出身。北海道小樽潮陵高等学校、北海道教育大学函館校卒業。北海道教育大学大学院教育学研究科修了。

長年にわたり、小・中学校教諭として音楽科の学習指導に優れた実践を重ねて成果を広く普及し、音楽教育の質の向上に尽くした。生涯にわたって音楽に親しむ子どもを育成するため、効果的な授業改善に取り組み、その成果を専門紙や学会などに執筆・発表。また、文化庁文化芸術育成事業の企画・推進に携わり、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新国立劇場合唱団、京都片山家能楽、日本三曲協会などを招聘し、質の高い音楽を地域に普及させる中心的な役割を果たした。音楽教育の実践が評価され、令和2年度北海道教育実践表彰、令和3年度文部科学大臣表彰を受賞。

吹奏楽の指導において、勤務した小・中学校では、東日本学校吹奏楽大会で3回金賞、日本管楽合奏コンテスト全国大会で3回最優秀賞、2回審査員特別賞

を受賞。北海道教育大学函館校吹奏楽団では、全日本吹奏楽コンクールに8回出場。同団の演奏会では、吹奏楽の芸術的価値を生み出すことを目指し、吹奏楽界で活躍する指揮者や作曲家を招聘し、作品の委嘱及び初演等を行うなど、吹奏楽の普及・発展に寄与している。

現在、北海道教育庁渡島教育局教育支援課義務教育指導班指導主事。北海道教育大学函館校吹奏楽団音楽監督・常任指揮者。



函館音楽協会賞

女声コーラス トリル : 合唱

女声コーラストライルは、昭和63年に発足。翌年(平成元年)から合唱祭をはじめ連盟行事に参加。これまで10回にわたり指揮者・声楽家・作曲家の指導を受け研鑽を積む。

当初から現代邦人作品の演奏に力を注ぎ、様々な演奏を試みてきた。平成3年より全日本合唱コンクールに参加。全道大会で金賞4回、北海道代表3回、銀賞15回など実績をあげ、NHK「BS日本の歌」では、2度にわたり歌手のバックコーラスで出演、連盟の行事には欠かさず参加し函館の合唱界を支えてきた。

また弦楽と合唱とのコラボ作品にも力を入れ、単独演奏会ではミサ曲やルネサンスの曲等ほぼ毎回取り組んできた。

令和6年2月の創立35周年記念演奏会では、これに、ピアノ五重奏と女声合唱による「いのりカンタービレ」により新しい音色の世界を表現した。

2024年秋の叙勲 佐々木茂氏 瑞宝中綬章受章

このたび2024年秋の叙勲で、当会評議員である佐々木茂氏（北海道教育大学名誉教授）が、教育研究功勞で瑞宝中綬章を受章されました。おめでとうございます。



令和6年函館市文化賞 宮崎加奈古氏 受賞

このたび当会会友、宮崎加奈古氏が令和6年（第75回）函館市文化賞を受賞しました。函館市文化賞は、函館市の文化の發達に多大な貢獻をした個人または団体に贈られる賞で、音楽協会会員の文化賞受賞は平成21年（第60回）受賞の中島眞之氏以来となります。宮崎加奈古氏は、長きにわたり箏曲の研鑽に努め、これまで他の音楽分野との交流や共演を図り、邦楽の伝統を守りながらも常に新しい分野を開拓し現代邦楽の發展に尽力されたほか、卓越した演奏技術と表現力による演奏活動を通じ、後進の指導育成に努められました。また、函館市文化芸術アウトリーチ事業ではプログラムの講師として、市内の小中学校に出向き指導と演奏を行っており、日本伝統芸術の普及と伝承に寄与し、函館市文化の向上發展に貢獻されたことが評価されました。



◇令和6年 函館市文化賞 宮崎 加奈古氏

函館市文化賞を受賞し身の引き締まる思いでございます。箏演奏家として歩んだ道を思い返しております。私が函館音楽協会に入会させていただいたのは昭和55年でした。故清水信勝先生に勧められるまま「箏奏者なのに良いのかしら？」という感覚を背負いながらも音楽家の先生達から刺激を受けたいという一心での入会でした。様々な場面で音楽への真摯な姿勢、洞察力、表現力など 音楽協会会員の皆様から多くを学ばせていただき、私の音楽に対する「熱」の土台となりました。「箏曲という分野」ではなく「箏という名の十三弦の楽器」として認知してほしいという思いは指導者・演奏者として50年を過ぎた今も変わりません。令和6年6月に開催した師籍50周年記念演奏会では佐々木茂先生作曲の「二面の箏と十七弦のための三重奏曲」を弾かせていただきました。洋楽の先生の作品には多くの新鮮な学びがあります。新しい発見もありました。育んでくださった多くの方々に感謝し、これからも「音色と表現」を追求しながら精進してまいります。

令和6年度函館市文化団体協議会 山本和生氏 青麒麟章受章

このたび当会会員山本和生氏が令和6年度函館市文化団体協議会青麒麟章を受章しました。青麒麟章は、この1年間で特に優れた文化芸術活動を行った個人や団体に贈られます。山本和生氏は、この一年、東京藝術大学道南ゆかりの同窓生によるコンサートに企画運営に携わり、「黒鍵のための桜」と「ユーフォニアムとピアノの為のノクターン」が演奏されたほか、その他各種演奏会において曲の提供を多数行ってきました。これまでも函館MB混声合唱団や函館市民オーケストラなどにも委嘱作品を提供し、市内の学校の開校に合わせて校歌の作曲を手掛けています。また、各種コンクールの審査員を務め、音楽家志望者への指導など後進の育成にあたるなど、多岐にわたる活動が評価されました。



◇令和6年度 函館市文化団体協議会青麒麟章受章 山本 和生氏

この度、函館市文化団体協議会60周年という節目の年に、青麒麟章をいただきまして、大変嬉しく光榮に思っております。有志の皆様方からは心温まるお言葉を頂戴しましたこと、心より感謝申し上げます。今年、函館近郊にゆかりのある東京藝術大学の先輩方、在学生とともに演奏会を開くことができました。演奏力のみならず、意識の高さ、音楽に向き合う厳しさにも触れ、大きな刺激となりました。在学生をみても、自分の頃とはアプローチも解釈も多様化している現実を受け止める機会となり、時代に沿って、自身も更なる精進をしていかななくてはと、身の引き締まる思いになりました。また今年、私が作曲を勉強していきたいと決めた中学生の頃に書いた曲を再演いただける機会があり、忘れかけていた感覚や記憶をたどる時間となりました。そういった折での受章は、私にとって折り返し地点のように感じられます。初心を忘れずに、今まで学び教えていただいたことを、これからは広く音楽を志す方々に還元できるよう努力していきたいと思っております。今後とも皆さまのご指導をいただけますようどうぞよろしくお願い致します。

第65回函館音楽協会ジュニアコンサート

第65回 函館音楽協会ジュニアコンサート
Junior Concert
 2024.9.23(日) 函館市芸術ホール(定例) 入場無料
 開演 13:00 開演 13:30 閉演予定 16:00

1. かのり組 月乃 (13歳) 作曲
2. かのり組 龍口 (13歳) 作曲
3. かのり組 上原 (13歳) 作曲
4. 龍 成海 (13歳) 作曲
5. 龍 龍海 (13歳) 作曲
6. 龍 龍海 (13歳) 作曲
7. 龍 龍海 (13歳) 作曲
8. 龍 龍海 (13歳) 作曲
9. 龍 龍海 (13歳) 作曲
10. 龍 龍海 (13歳) 作曲
11. 龍 龍海 (13歳) 作曲
12. 龍 龍海 (13歳) 作曲
13. 龍 龍海 (13歳) 作曲
14. 龍 龍海 (13歳) 作曲
15. 龍 龍海 (13歳) 作曲
16. 龍 龍海 (13歳) 作曲
17. 龍 龍海 (13歳) 作曲
18. 龍 龍海 (13歳) 作曲
19. 龍 龍海 (13歳) 作曲
20. 龍 龍海 (13歳) 作曲
21. 龍 龍海 (13歳) 作曲
22. 龍 龍海 (13歳) 作曲
23. 龍 龍海 (13歳) 作曲
24. 龍 龍海 (13歳) 作曲
25. 龍 龍海 (13歳) 作曲

函館音楽協会主催第65回ジュニアコンサートが9月23日（月・祝）函館市芸術ホールで開催されました。

ジュニアコンサートは、函館とその近郊で音楽を学ぶ子どもたちのコンサートで、今年度は小学2年生から高校3年生までの24名が、日ごろの練習の成果を披露しました。

今年度は、ピアノ・ヴァイオリン・ギター・フルート・アルトサクソフォーン・クラリネット・声楽の個性あふれる豊かな音色に会場からは温かい拍手が送られていました。

クラリネット独奏で出演した原田怜さんより感想をいただきました。

◇函館西高等学校3年 原田 怜

今回、初めてのジュニアコンサートに出演させて頂き、おかげさまでとてもいい経験で締めくくることができて嬉しく思います。幅広い年代の演奏を聴くことで刺激を受け、自分の演奏に活かすことができました。

今回の様なソロのステージを通してピアノと演奏することの楽しさや自分の表現を前面に出して演奏することの楽しさを改めて感じる事ができ、自分の音楽と向き合う良い機会となりました。

本番のステージは程よい緊張感で臨むことができました。そして、この素晴らしいホールで自分の音が響いていたのを感じ、とても楽しく演奏できて嬉しく思います。このコンサートを経験し、自分の課題をさらに知ることもでき、とても貴重な経験だったと改めて感じました。

このような経験をさせてくださった関係者の皆様、一緒に演奏して下さった伊藤先生や指導して下さった岩平先生、支えてくれた保護者や共演者の皆様には本当に感謝しています。とても貴重な経験をありがとうございました。



令和6年度函館音楽協会秋季定期演奏会

11月9日（土）18:00より、函館市芸術ホールに於いて令和6年度函館音楽協会秋季定期演奏会が開催されました。

定期演奏会は当会会員の研鑽の場として春と秋に年二回開催しており、秋季定期演奏会は毎回テーマを設けたプログラム構成になっています。

今回は「7つの音語り」と題して、リコーダー、ソプラノ、バリトン、ピアノソロなど7ステージが披露されました。

曲が持つストーリー（物語）を音で紡ぐように、個性豊かな音色によって曲の世界観を表現していました。

ピアノソロで出演した森洋子氏よりコメントをお寄せいただきました。

ショパンの前奏曲集がバッハの感化を受けて作られたと長い間聞いてきましたが、具体的にどの辺がそうなのか？と気になっていました。今年は9月にチェンバロでバッハのプレリュード（平均律第1巻）全24曲を、ショパンと同じ5度圏の並びで弾く予定でしたので、この機会に数曲でも良いからショパンの方も勉強してみようと思い、年明けから少しずつ練習を始めました。自分の大学入試課題曲であった1番、16番は数十年ぶりの取り組みでした。

また、11月、12月にバッハとショパンのプレリュードをテーマにしたレクチャーを行いますので（札幌）、秋定への出演は演奏のまとめとして時期的にも良かったです。

演奏したのは24曲中の5曲でしたが、ショパンの中にバロックから綿々と受け継がれる和声や装飾音の扱いを見たり、一方でバロックでは有り得ない和声／調性音楽確立後の転調の扱いなど、ショパンの作曲法の一端を知ることが出来たのは、とても新鮮でした。

このために練習楽器／場所を提供くださった方々、演奏上の有益なアドバイスを下さった方、また、ご来聴いただいた皆様、当日のスタッフ、幹事の皆様に御礼申し上げます。

森 洋子

令和6年度
函館音楽協会
秋季定期演奏会

7つの音語り
7stories of music

2024
11.9 (土 Sat)

17:30 開演 18:00 始演
函館市芸術ホール（1階）18:00開演

チケット
一般 1,000円
学生 500円（中学生以下無料）

チケット取扱い
函館市芸術ホール 55-3521
総合楽器製作所 函館支店 52-2468

お問い合わせセンター 080-6859-8462



プロムナードコンサートin函館美術館

9月15日（日）14時より、北海道立函館美術館にて プロムナードコンサートin函館美術館が開催されました。

函館音楽協会主催、北海道立函館美術館共催のこのイベントは今回が初めての開催となります。

美術館ホールで行われたコンサートにはソプラノ独唱、ピアノソロ、バリトン独唱、ソプラノ&メゾ・ソプラノによる二重唱の、計4組が出演しました。

美術館ホールはお客様との距離がとても近く音楽ホールとはまた違った雰囲気、曲間に解説を挟んだり、オペラの動作を交えるなど、出演者それぞれに志向を凝らし、お客様からはたくさんの拍手が送られました。

椅子席は限られており、立ち見場所にも困るほどたくさんのお客様がお越し下さりました。カーテンコール時には一般のお客様より「敬老の日に素敵なプレゼントをありがとう。最後に皆で歌える曲を1曲お願いしたい」とお言葉をいただき、石丸典子会長のピアノにより、全員で「故郷（ふるさと）」を大合唱し、盛会のうちに終了しました。

出演した木村久美子氏より感想をお寄せいただきました。

◇プロムナードコンサートに出演して 木村久美子

初めての試みとなる函館音楽協会主催『プロムナードコンサート in 函館美術館』を終了し、安堵しています。多くの方々に来場いただき、楽しんでいただけたことは、出演者一同何よりの喜びです。

今は、いろいろな方法で音楽を楽しむことができます。けれども、コンサートホールで、その日その時のお客様と演奏者との間で湧き上がる感動を体験する喜びに勝るものはないと思います。

今回、会場が美術館ということで、「今まで、コンサートホールで演奏会を聴いたことはないけれど、家が近いので行ってみようと思います。」というお声もありました。これから多くの方々にコンサートホールでの演奏を楽しんでいただけるようになるために、今回のプロムナードコンサートが一助になれば幸いです。

また、このコンサートの開催にあたり、函館美術館の職員の皆様にお力添えをいただいたことに、深く感謝申し上げます。



コンサート情報

—主催・協力事業—

春季定期演奏会

- 日時/ 2025年5月25日(日)14:00開演
- 会場/函館市芸術ホール

第52回学生コンサート

- 日時/ 2025年8月31日(日)14:00開演
- 会場/函館市芸術ホール

第66回ジュニアコンサート

- 日時/ 2025年9月23日(火祝)13:30開演予定
- 会場/函館市芸術ホール

秋季定期演奏会

- 日時/ 2025年11月9日(土)時刻未定
- 会場/函館市芸術ホール

—後援事業—

音の絵20周年特別コンサート

- 日時/2025年3月7日(金)18:00開演
- 会場/函館市芸術ホール
- 主催/音の絵

2025スプリング・コンサート

古川亜美 和のりサイタル

～師匠から教わった民謡・長唄・日本舞踊～

- 日時/2025年3月9日(日)14:00開演
- 会場/函館芸術ホール
- 主催/公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団、HBC函館放送局